

## 宮城県高等学校山岳部&ワンダーフォーゲル部 登山装備支援報告 その1

宮城県高校体育連盟登山専門部では、7月2日～3日に蔵王・烏帽子岳周辺にて、県下の山岳部・ワンダーフォーゲル部の新入部員を集めた「新入部員基礎技術講習会」を開催しました。装備を支援した高校のひとつ石巻高等学校からは1年生が11人、2年生の2人の計13人が参加しました。生徒たちから感想が届きましたのでお届けします。



7月3日、基礎技術講習会を終えて、ほっと一息の石巻高等学校ワンダーフォーゲル部の部員たち。ご寄付いただいたザックとともに

### ■部員たちの感想

#### 〇さん 1年生

初めての登山では思ったよりも多くのことを学ぶことができました。たとえば行動食は次からはグミ系のものにした方がいいとか水はもっと大量に持っていかないと足りない、メガネをかけながら登山をするのは大変など、他にもたくさんありますが、たくさんことを学びました。登山自体は大変でしたが、部内でリタイアする人もいなかったし、思いっきり泥に入っても全く靴にしみず、道具のすごさがわかったのでよかったです。

#### Kさん 1年生

私は先日、山に行き寄ってもらった装備を使ってみました。まず靴は履き心地がよく、水に入っても防水性に優れていてよかったです。ザックやウエストポーチに関しては使い勝手がよく、何を入れてもきちんと入ったので素晴らしいと思いました。その他の物品に関しても、使いやすいなと感じました。

今回の山行ではまだまだ自分が山に対して知らないことばかりだと痛感しました。なので、これらのいただいた装備を愛用しながら、山に対する知識を深めていけたら良いなと思います。

最後に、装備を寄付していただくというサポートをしていただき、本当にありがとうございました。

#### Mさん 1年生

石高のワンゲル部に入って、初めての登山は想像以上に大変でした。滑りやすい道や、永遠に続く坂道には体力より精神力が削られました。しかし、同じグループになった他校の人達とお互いに励まし合いながら登ることができました。

この登山では、山を登ることは大変だとも思いましたが、それ以上に、山を登ることは楽しいと思いました。頂上に登った時の達成感や、仲間と一緒に作り、食べたご飯のおいしさは、山を登る大変さよりはるかに大きかったからです。これからたくさんの山に登ると思いますが、ひとつひとつの山を楽しく登れたらいいなと思います。

#### Hさん 1年生

新人研修ということで初めての山登りへ行って参りました。炊事担当ということでカレーを作りました。味が薄かったですが上出来だと思います。二日目の山登りでは支援して頂いたザックやポーチ、靴等が大活躍で楽しく登山をすることができました。頂上からの眺めはガスではっきり見ることはできませんでしたが鳥や植物等、珍しい物を多く見ることができました。これからも頑張りますので応援して頂けると幸いです。

## Aさん 1年生

今回の研修会では、登山に関する基礎をたくさん教えていただきました。初めての登山でもあり、かなり勉強になりました。中でも山に登るとき、自分の体力がずっと少ないことを痛感しました。最後まで登りきることはできましたが、次に向けて、体を鍛えたいと思います。今回は山と渓谷社や顧問の先生、友人と両親などたくさんの方々の協力を得てようやくできたので、感謝の気持ちを忘れず、この経験を大切にしていきたいです。

## Sさん 1年生

### 良かった点

- ・自分のペースを守って登りきることができた。
- ・班のみんなと協力し、活動することができた。
- ・テントをはやくたてられた。

### 反省点

- ・装備が準備不足だった。
- ・料理をうまく作ることができなかった。

### 感想

1日目の講習では山登りの知識を覚えられるように聞いていた。実習のテントたては割と手際よくたてられたが、料理は散々な物ができあがってしまった。2日目の登山はとても疲れたが、バテずに登りきることができてよかった。しかし、水分が足りず、途中で無くなってしまったので、次に登るときには多めに持っていきたい。今回学んだことを七ッ森へ行く時に生かし、楽しく登れるようにしていきたい。

## Sさん 1年生

今回の研修に行き、自分の体力のなさを痛感しました。他校の生徒さん達は登った経験も多いためか、思っていた以上にすいすいと登っていたのに、自分は息もあらく、足取りも重い感じでした。足もつりそうになるし、草で手を切ったりでたいへんでした。それ以外にも知識の差がまざまざとはっきりしていて専門用語が飛び交う中で自分だけがちんぷんかんぷんということもありました。せっかく用品をもらったのに自分からその好意を踏みにじることは絶対にやりたくないの、これからは体力づくりと用語確認、どちらとも両立してがんばっていこうと思います。

## Tさん 1年生

蔵王は僕にとって初めての山行でした。山に登ることは想像以上につらいものでした。見上げる程、高いものを自分の足で登るわけですから、まして、津波を受け練習も何もできない僕達にとっては、とてもつらいものでした。

山はよく人生にたとえられます。常に登り坂のような苦しいことをこえてやがて山頂、天国へ行くわけですが、人は山道の途中でも立ち止まり、諦めることもできます。途中の風景で満足し、天へ昇ることも可能です。ですが僕は諦めませんでした。つらい登り坂でも、津波を受けても諦

めるつもりはありませんでした。それは何か必ず素晴らしいものが待っているからです。

天気は、少しガスがかかっていたましたが、それも、風景の一つです。山頂では素晴らしい達成感が待っていました。皆さんが助けてくれなければここに来ることはできなかったとその時思いました。皆さんからもらった靴はとても軽く、登山の際、とても助けられました。そして、皆さんからの物資に僕たちはとても励まされました。皆さんの支援は、登山、そして人生の支えになることと思います。僕はそのことをとても感謝しています。ありがとうございます。

## Sさん 1年生

石巻高校ワンダーフォーゲル部一年最初の登山は、『山と渓谷』の皆さんの支援のおかげで快適な登山ができたと思います。しかし、初めての登山で自分たちに体力が全くないということも痛感してしまったので、これからトレーニングに励んでいきたいと思います。そして最後に、今回の登山での一番の思い出は、初めて作った、にんじんがご飯よりも多い大量のカレーを完食したことです。支援していただき、ありがとうございます。

## Aさん 1年生

### 良かった点

- ・山登りの基本を講習で知ることができました。
- ・山登りは初めてだったので、経験をして今回足りなかった物、多すぎた物を知れたので、講習は意義あることだったと思います。

### 悪い点

炊事の際手際が悪く遅れた点と、登山の際体力が無く遅れた点です。

### 反省

今後の山行では今回足りなかった部分を補い、遅れないようにします。装備をいただいたのでそれに悪くないように進みたいです。

## Mさん 1年生

今回の新人研修は実質ワンダーフォーゲル部に入ってから初めての登山になりました。

1日目は山には登りませんでしたが他校の友達と一緒にカレーを作ったりテントをたてたりしました。テントの中では一緒にトランプや UNO をしたりしてとても楽しく過ごすことができました。2日目は、前烏帽子と後烏帽子の頂上まで登りました。他校のみんなはもう登山経験があって登りも下りもペースに合わせるのが大変でした。頂上に着いた時には曇っていたので景色がよく見えなかったけど、達成感を味わうことができ疲れが吹き飛んだような気がしました。震災の影響で他校に遅れをとってしまいましたが、もっと体力や知識を身につけて夏山登山や新人大会に向けて頑張りたいと思います。

## Iさん 2年生

ワンゲル部に入部して2ヶ月が過ぎ、新人研修が初めての山登りとなりました。そこでは班長として活動しましたが、技術や知識等は全然だめなので、責任をもって、班をまとめることにしました。そして、班の中には、知識などを備えている班員もいたので、逆にその人達から教えてもらい、力をつけることができました。班のみなさんにとっても感謝しています。もしかしたら、大会で一緒に競うことになるので、感謝しつつ、良き敵として正々堂々と戦ってみたいと思います。

## Gさん 2年生

標高千六百メートル程という初めての登山にしては少し高い山に登ってきました。その日は蒸し暑く、快適な登山とは言えませんでした。それによって得るものはたくさんあったと思います。今回の登山ではマムートさんからいただいた装備の数々が支えになりました。それらがなければ、今回の登山はそれほど充実したものにはならなかったと思います。本当にありがとうございました。これからも頑張ります。

.....

### ■支援応募・装備提供者の方々(50音順)

遠藤邦夫さん(山形県)

Oさん(埼玉県)

Kさん(神奈川県)

Kさん(山口県)

Kさん(大阪府)

Kさん(東京都)

斉藤照夫さん(神奈川県)

鈴木正道さん(神奈川県)

Sさん(大阪府)

中川富美雄さん(東京都)

Nさん(東京都)

福中 勝さん(東京都)

吉本亮介さん(愛知県)

Yさん(奈良県)

渡邊 怜さん(埼玉県)

アライテント

石井スポーツグループ

イワタニ・プリムス

エイアンドエフ

エイチシーエス

エバニュー

ケンコー社

コロビアスポーツウエアジャパン

ダックス

ファイントラック

マムートスポーツグループジャパン

モンベル

ロストアロー

### ■事務局から

これから多賀城高等学校、石巻高等学校あわせて、部員たちから活動報告を、不定期ではありますが皆様にお届けいたします。いよいよ夏本番。各校、「新人歓迎山行」「夏山合宿」と部活動が続きます。皆様にご支援いただいた装備で、子どもたちは山と向き合い自分と向き合っていくと思います。今後もご支援をよろしく願いいたします。  
(事務局=神谷有二)

2011年7月7日発行

### 日本山岳遺産基金

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-11 住友不動産ビル 8階

山と溪谷社内

TEL03-6744-1909 FAX03-6744-1929

<http://sangakuisan.yamakei.co.jp/>

